

守護天使（2009）

メディア 映画
ジャンル コメディ ロマン스
製作国 日本
色彩 Color
時間 109分
初公開日 2009/06/20
公開情報 エイベックス・エンタテインメント

【キャッチコピー】
大不況時代のヒーローは…、
アレ？こんなヤツら!？

“最弱” ヒーロー3人組が贈る、チョットの勇気と希望がもらえるエンターテインメント・ムービー

【解説】
妻の尻に敷かれる冴えない中年オヤジの主人公が、美少女高校生に心奪われ、勝手に陰ながら彼女を守り続けようと奔走するさまを描いた異色の恋愛小説をカンニング竹山主演で映画化。主人公の情けなくも一途な奮闘ぶりを中年の悲哀をにじませつつ、ハートウォーミングに綴る。共演は佐々木蔵之介と與真司郎、ヒロイン役に忽那汐里。監督は「キサラギ」の佐藤祐市。
鬼嫁におびえて暮らす薄給サラリーマンの須賀啓一。1日500円のお小遣いを手に満員電車で揺られて出勤する毎日。そんなある日、通勤途中に転んで大切な500円を落としてしまう須賀。すると、女子高校生の涼子が天使のような汚れのない笑顔で優しく声を掛けてきた。この瞬間、須賀は人生で初めて恋に落ちた。そんな須賀の純情を、同級生のチンピラ、村岡は鼻で笑う。そして、須賀の塾の元生徒でイケメンのヒキコモリ、大和が淫らな内容が書き込まれた涼子のブログを見つけ出す。さらに、大和はネットの掲示板で涼子の拉致計画が進行中であることを突き止める。涼子の清らかな心を信じて疑わない須賀は、世の中のすべての悪意から彼女を守ると勝手に決意、村岡と大和を巻き込み、涼子をこっそり護衛し始めるのだが…。

【クレジット】			
監督	佐藤祐市		
プロデューサー	柳崎芳夫 井口喜一		
原作	上村佑	『守護天使』（宝島社刊）	
脚本	橋本裕志		
撮影	川村明弘		
美術	荒川淳彦		
音楽	佐藤直紀		
主題歌	エイジア エンジン	『僕にできる事のすべて』	
照明	阿部慶治		
録音	金杉貴史		
映像	高梨剣		
出演	カンニング竹山 佐々木蔵之介	Kanningu Takeyama 須賀啓一 村岡昌志	

與真司郎		佐々木大和
忽那汐里	Shioli Kutsuna	宮野涼子
寺島しのぶ		須賀勝子
柄本佑		ハーベスト
日村勇紀		ブッチャー
波瑠		渡辺麻美
吉田鋼太郎		雀荘ロン店長
キムラ緑子	Kimura Midoriko	スナックのママ
升毅		医者
佐野史郎		ホモ雑誌の編集長
池内博之		牧瀬和彦
大杉漣		豊川